

# シラバス詳細

タイトル「2024年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

## 科目情報

< 4 / 6件 >

### 科目名

中級日本語2-1(文法)

### 講義名

中級日本語2-1(文法)

### クラス

### 担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

### 学年

1年、2年、3年、4年

### キャンパス区分

金谷川キャンパス

### 開講学期

後期

### 開講時期

(後期)

### 曜日・時限

金 2

## 講義室

講義室未設定

## 科目種別

通常講義(学類)

## ナンバリング

## 科目区分

要卒外(システム用)

## 単位区分

要卒外

## 単位数

1

## 準備事項

## 備考

## 特修プログラム

## 直接参照URL

[https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC\\_06001B00\\_22/referenceDirect?subjectID=047340156468&formatCD=1](https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047340156468&formatCD=1)

## 授業方法

講義、グループワーク、ICT機器の活用

## 講義情報

### 授業概要とねらい

・文法項目、文法知識を増やすことを通して、日本語の理解と使用の能力を高め、学習者自身の言語への意識、言語学習への意識の向上も目指す。

- ・ 具体的には日本語能力試験N2レベルの文法事項を学習する。しかし授業および評価においては単なる文法項目、文法知識の詰め込みではなく、具体的な場面においてそれが実際に使用できるようになったかどうかを重視する。

- ・ To develop competence of usage and understanding of Japanese language by expanding grammatic items. In this class we also aim to develop students' attitude towards language learning.

- ・ In this class, lessons are focus on gramatical matters of level 2 on Japanese Language proficiency test. On the evaluation, usage of language is more important than the knowledge.

## 単位認定基準

- ・ 書き手の独自の考えや見解が示されている記事や報告が読める。
- ・ 馴染み深い内容であれば、話し合いに積極的に参加して自分の見解を表明したり維持することができる。
- ・ 自分の関心ごとに関係のあることであれば、かなり広範な話題を扱った明瞭で詳細な文章が書ける。
- ・ 情報を伝えたり、ある見解に対して賛成、反対の理由を述べることができる。

- ・ can read articles and reports concerned with contemporary problems in which the writers adopt particular attitudes or viewpoints.

- ・ can take an active part in discussion in familiar contexts, accounting for and sustaining their views.

- ・ can write clear, detailed text on a wide range of subjects related to their interests.

- ・ can write an essay or report, passing on information or giving reasons in support of or against a particular point of view.

## 授業計画

- 1) オリエンテーション、テキスト第1課お知らせなどの文章が読める
  - 2) テキスト第2課(1)改まった形で思い出話などをして、お別れのスピーチができる
  - 3) テキスト第2課(2)改まった形で今後の展望などを話し、お礼のあいさつが言える
  - 4) テキスト第3課仕事など社会生活の場面で心構えを聞いて、理解できる
  - 5) テキスト第4課天気予報、台風情報などのニュースを聞いて理解できる
  - 6) テキスト第5課(1)自分の困った状況が友だちに説明できる
  - 7) テキスト第5課(2)友だちの話に共感して励ますことができる
  - 8) テキスト第6課(1)自分の困った状況、気持ちを友だちに説明できる
  - 9) 中間まとめ
  - 10) テキスト第6課(2)友だちの状況に共感して励ますことができる
  - 11) テキスト第7課(1)レポートや論説文の、これまでの経緯の説明が理解できる
  - 12) テキスト第7課(2)レポートや論説文のこれまでの状況の説明が理解できる
  - 13) テキスト第8課ビジネス場面での社外の人との簡単な受け答えができる
  - 14) 復習
  - 15) 全体のまとめ
- \* 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) Orientation, Textbook Chapter1(1), Grammar Point1-8
- 2) Textbook Chapter2(1), Grammar Point9-15
- 3) Textbook Chapter2(2) Grammar Point16-21
- 4) Textbook Chapter3(1), Grammar Point22-29
- 5) Textbook Chapter4, Grammar Point30-36
- 6) Textbook Chapter5(1), Grammar Point37-42
- 7) Textbook Chapter5(2), Grammar Point43-47
- 8) Textbook Chapter6(1), Grammar Point48-52
- 9) Midterm exam
- 10) Textbook Chapter6(2), Grammar Point53-59
- 11) Textbook Chapter7(1), Grammar Point60-65
- 12) Textbook Chapter7(2), Grammar Point66-72
- 13) Textbook Chapter8, Grammar Point73-77
- 14) Review
- 15) Final exam

\* These schedules are still tentative.

## 授業計画（週形式）

## 教材・教科書

『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』アスク出版

"Try! Nihongo noryokushikenn N2 bunnpoo karanobasu Nihongo" ASK publishing.

## 参考図書

## 参考URL

## 授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題、予習、復習をしてくること。
- ・単位制に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours for homework, preparation and review before and after each classes.

## 成績評価の方法

小テスト・提出課題（30%）、中間試験（20%）、期末試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないと期末試験は受けられない。

Aquizzes and weekly assignments (30%), Midterm exam (20%), Final exam (50%)

Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

## 成績評価の基準

- S：単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
- A：単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
- B：単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
- C：単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
- F：単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

S：Very excellent in every points.

A：Very good in every points.

B：Good in every points.

C：Not good in some points.

F：Not good in most of points

## オフィスアワー

授業開始時に指示する

It will be announced at the beginning of the course.

## 授業改善・工夫

Google Classroomを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using Google Classroom. Google Classroom is also expected to lead students to autonomous learning .

### **留意点・注意事項**

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to clear the criterion score on the J-CAT test.

### **教員の実務経験の有無**